省略(注) の箇所は、著作権の都合上省略しています。

2026年度　入学者選抜
［自己推薦］
文学部　史学科

歴史分野の学力を問う論述

注　　意

1. 問題は全部で（ 5 ）ページである。
2. 解答はすべて解答用紙に書きなさい。
3. 解答用紙は必ず提出のこと。
［問題は提出する必要はない。］
4. 試験開始の指示があるまでは、問題冊子を開いてはならない。

□55□

受験上の注意

1．以下のⅠ（2ページ）、Ⅱ（3ページ）、Ⅲ（4ページ）、Ⅳ（5ページ）の四つの設問から一問を選択して、解答すること。

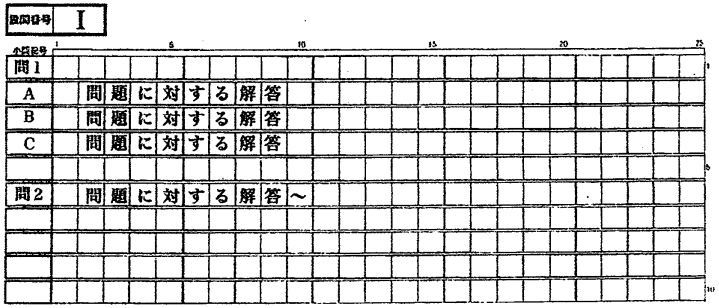
2．選択した設問の番号を、下の〔解答用紙使用例〕にしたがい、必ず記入すること。

3．設問Ⅰ~Ⅳのなかに、小問がある場合には、下の〔解答用紙使用例〕にしたがい、その記号を明記すること。

4．解答用紙のマス目は、一マスに一字ずつ記入すること。

5．設問に、字数の指定などがある場合には、解答用紙のマス目を使い、文字数を各自で計算して、解答すること。

〔解答用紙使用例〕



□55□

Ⅰ　次の史料を読んで、下記の設問に答えなさい。

省略（注）

（出典：『徳川禁令考』）

問１　この法令の名称を書きなさい。

問２　この法令が発令されたのはいつか。和暦で答えなさい。

問３　この法令が発令された背景について、19世紀初頭からの動向を踏まえて述べなさい。

Ⅱ　次の資料を読んで、下記の設問に答えなさい。

省略（注）

（出典：『旧唐書』46「經籍上」）

上の文章は、唐の時代に多くの書物があったことを伝える史料である。

問１　下線部①に関連し、この「經」は儒教経典を指す。ここでは、これが冒頭に書かれているが、このように中国王朝で儒教が重視されるに至った経過を述べよ。

問２　下線部②に関連し、一般に中国王朝の正史は、その王朝が滅亡したのち、新たに立った王朝によって書かれた。それはなぜか、説明せよ。

問３　ここに見える、「甲」「乙」は、十干の最初の二つであり、漢字文化圏では、これによって順序を表すことがある。十干の残りの８つを順番に挙げよ。

Ⅲ 以下の文章を読み、設問に答えなさい。

省略(注)

(出典：John Tosh, Why History Matters, second edition, London, 2008, p.25)

double-sided quality：両面的な特徴を持つ　time frame：時代（の枠組み）
reassuringly：安心するほど　underpin：支える　proximity：近さ
in contention：対立している

問１　文章中の下線部（a）を日本語に訳しなさい。

問２　文章の内容を踏まえつつ、西洋史上の具体的な歴史的事象について、その現代性と歴史性という観点から、400 文字以内で説明しなさい。

Ⅳ 次の図は、空欄 あ ～ え の遺物や遺構の分布を示している。図について、下記の設問に答えなさい。

省略(注)

(出典：実教出版（2025）『日本史探究』p.23 より引用、改変)

問１　図中の空欄 あ ～ え には、右横に示された遺物や遺構の名称が入る。それぞれの空欄に入る語句を漢字で答えなさい。

問２　この図から読み取れることを１００字以内で書きなさい。

問３　この図を参考にして、紀元前１～紀元後２世紀ごろの倭国の社会的様相について、中国との関係もふまえながら 300 字以内で説明しなさい。